



国際ロータリー第2530地区 2014-15年度

# 福島ロータリークラブ會報

第41号

例会日/2015年5月21日(木) 開会点鐘/12:30  
会場/ホテル[辰巳屋]8F

和の心で  
日々燭を掲げよう

Rotary



本日の  
プログラム

ライラ研修報告  
地区大会報告

ライラ研修生お二人より発表  
各種表彰の披露と伝達

<http://www.f-rotary.com/>

【事務所】福島市栄町5-1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日12:30

【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

## 例会次第

- 開会点鐘 丹治正博 会長
- ロータリーソング「我等の生業」  
ソングリーダー 菅野裕一 会員
- 「四つのテスト」唱和 岡田新也 会員
- 会長挨拶 丹治正博 会長
- お客様並びに来訪ロータリアン紹介
- 新会員入会式
- 血圧測定 明治病院看護師 盛山優子様
- 5月誕生祝い
- 食事
- 幹事報告 坪井大雄 幹事
- 各委員会報告
  - プログラム・ニコニコBOX小委員会  
ニコニコBOX担当 松浦敬裕 委員
  - 広報マルチメディア・雑誌小委員会  
「友」5月号の紹介 佐藤武彦 委員長
- ◎本日のプログラム
- 閉会点鐘 丹治正博 会長



**ごあいさつ**  
二〇一四―一五年度会長 丹治正博

**気になる近頃の敬語**

私は、最近ある敬語の言い回しに些か違和感を持つております。それは「〇〇させていただきます」という言い回しです。これを繰り返して、度が過ぎて使われると実に耳障りな言葉になると思いませんか。この前、週刊誌のコラムに面白い記事が出ていました。テレビで某企業の担当者が自社の商品説明をしているのに筆者が違和感を抱いたことが書いてありました。担当者いわく「私どもの方で販売させていただいているこの『ふわふわプリン』でございますが、契約農家の方からご提供いただいた新鮮な卵を使用させていただき、自家製のカスタードを作らせていただいております」などと言っていました。別に貴方の会社がプリンを作るのに私たちが許可なんていらぬのに、どうぞご勝手に感じました。この担当者が発言した内容は、本来、「私達が販売している『ふわふわプリン』は、契約農家から卵を仕入れてカスタードを作っています」で済むのに「させていただく」を入れるが故に、四十四文字で済むところが九十一文字にもなっているのです。

### 敬語上も間違い

インタビューなどでよく耳にする「一生懸命プレーさせていただきます」「演技させていただきます」という言葉。一見、丁寧そうに見えますが実はこの敬語は間違いです。「させていただく」は相手に許可をとる時の言葉であって、許可が必要ない時に使うと過剰配慮の時代を憂える

### 過剰配慮の時代を憂える

こうしたい言い回しが増えていく背景には、今、他人にやたらと配慮する社会が到来しつつあると感じています。まさに「過剰配慮」の時代ですが、その根本には自分が嫌な奴だと思われたくないという気持ちがあるのでしょう。そして、「他人に配慮できる私」というものをアピールしたいという下心と、「もしかしたら誰かを傷つけるかもしれない」との過度な配慮が働いていると思われまふ。

もう一つの例をあげると、少し前に某化粧品会社の美白化粧品による白斑問題が騒動になりました。女性は美白を求めてこの化粧品を使用したのに一万三千人以上の皮膚にまだらな白斑ができしまったという事件で、被害者になれば私の人生を返せというくらい怒り、憤って当然です。またそう言う権利があると思われるのですが、テレビのインタビューに出ていた被害者はこんなことを言っていました。「〇〇さんは大手の会社さんなので信用していたのですが、私はなにが「さん」だと思いました。この被害者は首から下しか映らず、音声も変えられていてプライバシーが明かされることはなさそうなのに、「過剰配慮」をしているのです。「クソ〇〇」とか言ってもいいのに「〇〇さん」という始末。

もう一つは以前、とあるコンピューターメーカーが一堂に会したフェアを訪れた時のことですが、あるパソコンメーカーの社員がやたらと競合他社や協力企業のことを「さん」づけしてしましました。「アップルさん」「マイクロソフトさん」といった具合です。そして「させていただく」も多用してしましました。筆者は心の中でつぶやいたそうです。「あなたが『さんづけ』することは来場者には何の意味もない。『私は配慮しています』というアピールかもしれないが、別に来場者の利益にはならない。むしろ『さん』とか『させていただきます』を百回言うことによって数分のロスが生じる」

### 「させていただく」の使い過ぎにご注意

基本的にこの「へりくだり話法」といったものは、相手を慮るポーズは見せるものの、実際は自分が嫌な奴だと思われたくない、という臭いばかりがブクブク漂ってくる自己中心的な話法に過ぎないと思うのですが、皆さん如何お感じでしょうか。

## RYLA 研修会を終えて

コバックス株式会社 三浦 彩 様



はじめに、このたびの研修会への参加を許可いただいたことに心より感謝申し上げます。RYLA 研修会に参加しなければ考えなかったこと・感じなかったことが本当にたくさんあります。ありがとうございました。

早速ですが、はじめに研修会の日程の報告をし、続いて感想という流れで述べたいと思います。

【5月16日／研修一日目】①開校式、②「キャリア教育について」早川敬介先生よりご講演、③YOSAKOI 演習、④グループディスカッション

【5月17日／研修二日目】①ホテル周辺の散策、②「国際RYLAに参加して」佐藤はるか先生よりご講演、③「ローターアクトについて」鈴木雄喜先生よりご講演、④グループディスカッション・発表、⑤閉会式

はじめに「キャリア教育について」の講演では、子どもたちに対する教育について、近年問題となっている若者のコミュニケーション能力の低下（人前で発表したり自分の考えを表現できないなど）これに対して、早川先生は「これまでの机の上のみの評価（テストの点数）」ではなく、自分の意見を発表したり周囲とコミュニケーションを語るなど、人と関わりあうことで自分自身の成長また周囲への影響と成長へとつながる「キャリア教育」の重要性をお話しいただきました。

また現代社会において ICT 技術は著しく進歩している中、生身の人間同士が関わりあう機会は限られてきており、「技術ばかりが進んでしまい、人間が機械についていけないような時代である」という早川先生の御言葉が今も頭の中に鮮明に残っています。そのとき、私自身も普段の生活を振り返ると、人と会話をすることや関わる時間よりも、スマートフォンやパソコンと向き合っている時間のほうが明らかに長いなと自覚しました。経験豊富でさまざまな知識・技術を持った方々に囲まれている環境下にもかかわらず、パソコンばかりと向き合って一日を過ごすことは非常にもったいないことだと思いました。休憩時間等を有効に活用し、自分から積極的に人と関わるよう心がけ、コミュニケーションを語っていきたい考えをより強く意識できました。

YOSAKOI 演習では研修生全員が身体を動かし、伝統芸能を体験しました。初めての経験になった研修生が多かったようですが、「やってみると楽しい」「個人的によさこいを始めようか」という声が聞こえました。普段生活していれば体験することができないことであり、非日常的な刺激を受けました。

一日目の最後は研修生がグループに分かれてディスカッションを行いました。「ふくしまの未来と私の人生設計」というテーマで、ふくしまが将来どう在るべきか・どんな場所にしたいかという想像を膨らませました。また想像を現実にするためには何が必要であるか・今から取

り組むべきことややるべきことは何かを具体的に考え、一人ひとりが自分の考えを発表するなど討論することができました。

二日目の朝はホテル周辺の散策から始まり、早朝から身体を動かすことができ非常に健康的な朝を過ごしました。次に「国際RYLAに参加して」の講演では佐藤はるか先生より、シドニーで行われた国際RYLA・RI国際大会のご報告を傾聴しました。海外へ渡航することだけでも不安や緊張に悩まされそうなことではないかと思いましたが、佐藤先生の講演を聴きその考えはなくなりました。行ったことのない場所を訪れる勇気と、踏み出す一歩を出してみる行動力は人を強くさせ、また帰国後には海外で自分が学び感じたことを周囲の方々に報告し、自分だけでなく周囲へ何かしらの影響を与えることができるといった様々な面で成長・活躍できるのではないかと感じました。「自分が動けば何かしら変わる。」と学び、私自身もこの二日間の研修に参加できたことで何が変わるか・何を感じているかを敏感に自覚するようになりました。

次の講演では「ローターアクトについて」鈴木雄喜先生から、ローターアクトの活動の内容をお聴きすることができました。第一印象として「ローターアクトとは一体何だろう」という疑問がありましたが、鈴木先生のご講演で理解を深めることができました。

最後に、グループディスカッションで討論した「ふくしまの未来と私の人生設計」についてグループごとに発表し、また二日間を通して感じたこと考えたことを研修生全員が発表して二日目終了しました。

研修当日を迎えるまでは緊張や不安な気持ちがありましたが、現在では参加できて本当に良かったと感じています。福島県内各地から集まった研修生はそれぞれ年齢や職業も異なり、それに伴い一人一人から貴重な体験談や考えを聴くことができました。普段通り生活していれば出逢うはずのない人同士が集まり討論する機会は滅多に無いでしょう。RYLA 研修に参加できたことで私自身の視野が広がったと実感しています。またほかの研修生の皆さんからも同様の感想がみられたため、参加して自分だけが影響を受けたのではなく周囲も考えたり感じたりしているということを目の当たりにしました。研修を終え、自分のことだけでなく、周りのことも考えまた自分へ影響を与えてくれる周囲へ感謝することの大切さを実感できました。

## RYLA 研修会報告

コバックス株式会社 八巻ひかり 様



初めましてコバックス（株）の八巻と申します。本日はお招き頂き誠にありがとうございます。

また先日行われたRYLA 研修会に参加させていただいた事もこの場を借りて御礼申し上げます。

本日はRYLA 研修会を通じて感じられた事、また勉強になったことをこの場で発表させていただきます。ご存じの

方もおりますでしょうが今回の研修では3つの講習とYOSAKOIの演習、そしてグループディスカッションを行いました。そのなかでも一番印象に残っているのは参加者が4つのグループに分かれ行ったグループディスカッションです。今日はその内容についてお話しようと思います。

グループディスカッションのテーマは「ふくしまの未来」～私の人生設計～でした。私が参加したグループでは震災や原発事故の被害が大きい福島で、どうしたら次世代の若い人々が集まりそして生活していけるか、という問題について討論しました。その結果まずは風評の払拭のために若者がよく利用するSNS等のインターネットを通して、情報の発信。またイベントを行う際には集客に利用したりと今の時代に合った情報提供を拡大していこうという考えができました。次に福島に住む人が増えれば働き口も必要になります。その中で自分が教える立場になる事も増えるでしょう、そのためにはまず自分たちがはっきりとした目標を持ち理解をしなければならないだろうということです。これはグループ全員一致の考えでした。この他にも意見が出ましたが、大きくまとめると県外の若者に福島に移住したいと思えるような地域づくりを行っていく中で次の世代の人材の育成、また自分自身のスキルアップが大切だろう、ということになりました。最後には各グループの発表がありました。その中でサブテーマを設けた班がありました。

それが、ふくしま100年計画「老若男女が住みやすい県No.1」というもので、このキャッチフレーズにとっても惹かれ印象に残っています。グループディスカッションについてはここまでとさせていただきます。

講習ではロータリーの方々との体験や経験したことが主でした。活動を聞いている中で他のロータリアンとのつながりがひしひしと熱い思いが伝わってきてとても輝いて見えました。

また演習のよさこいでは、鳴子やハッピーを来て参加者全員で音楽に合わせて踊りました。振り付けは、同じ様な動作の組み合わせで一見簡単そうに見えるのですが、実際に踊ってみると体重移動や手と足のちがう動きなどところどころ躓いてしまうような感じで、最後に合わせておどったときは何とも言えない達成感と一体感を味わうことができました。普段なかなか、間近では見られないよさこいを実際に体験できたことが貴重な経験となりました。

最後になりますがこの研修に参加するに当たり、まずRYLAとロータリーはどういった関係があるのかと疑問に思っていました。その疑問は研修のなかで解決し理解を深めることができました。そしてRYLAとは4つの英単語の略で日本語では「ロータリー青少年指導者養成プログラム」という翻訳になると知りました。この意味を通じて思ったことは、これからの日本、とくに福島は今若い人がどんどん減っています。特に地元の小学校、中学校は閉校になったりクラスの数が減ったりしています。そのなかで若者が率先し活動しなければ福島の未来は暗くなってしまうと思います。ですから少しでも地域の力になるような活動を広め、また次世代へとつないでいくための架け橋となれるよう頑張っていきたいと思います。

## 新会員入会式



くぼた よしろう  
久保田吉朗様

あいおいニッセイ同和損害保険(株)  
福島自動車営業部営業二課 担当次長  
(紹介/大沼健次会員)

生年月日/昭和38年7月11日(51歳) 出身地/山口県  
勤務先住所/福島市北町4-1  
勤務先TEL/024-521-5610 FAX024-524-0550  
経歴/昭和61年3月、早稲田大学卒業。同年4月に千代田火災海上保険(株)入社、神戸支店勤務。以後、東京自動車第一営業部・長野支店・旭川支店・長岡支店・滋賀支店・福島自動車営業部勤務を経て二度の合併を経験。また、福島自営部いわき着任の半年後、東日本大震災を経験。本年4月より、現職場勤務となる。  
家族構成/大阪府藤井寺市に留守宅あり。妻・娘2人(大2・高3)。現在は福島・大阪・京都の3重生活  
趣味/ドライブ・鉄道(乗り鉄)。大人の休日倶楽部会員。  
お酒/ひと通り飲みます。  
ゴルフ/現在は100を切ることを目標。



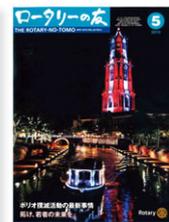
もてぎ まさし  
茂木 正志様

三井生命保険(株)郡山支社  
福島営業部 営業部長  
(紹介/古保 猛会員)

生年月日/昭和55年3月20日(35歳)  
勤務先住所/福島市栄町6-6 NBFユニックスビル7F  
勤務先TEL/024-521-1582 FAX024-522-4437  
出身地/東京都調布市 家族構成/妻・子ども2人  
趣味/スポーツ(社会人サッカー)、ゴルフ、お酒

## 今月の「友」より

## 5月号の注目記事



■横組みP3 / RI 指定記事 / RI 会長メッセージ

### 「友愛の家」

「有朋自遠方来、不亦樂乎(有る友有り遠方より来たる、亦た楽しからずや)」。「6月6～9日に開催される第106回国際ロータリー年次大会で、『友愛の家』は開催地のサンパウロの活気や文化の多様性を反映したものとなることでしょう」と黄会長は確信しています。

年次大会で、『友愛の家』は開催地のサンパウロの活気や文化の多様性を反映したものとなることでしょう」と黄会長は確信しています。

■横組みP6 / 「ロータリーとは」

■横組みP7～17 / 特集

### 「ポリオ撲滅活動の最新事情」

1980年代にロータリーがポリオ撲滅活動を本格的に開始して以来、ポリオの感染数は激減しています。2014年には、わずか359件だけとなりました。国際ロータリーとパートナー組織では、2018年にポリオを撲滅するという目標に向かって、ポリオ撲滅最終戦略計画のもと、活動を推進しています。



■横組みP30～31

### 「OB会で絆をいつまでも」

例えば転勤などを機会に、ロータリークラブを移籍したり、ロータリーを辞めてしまった人、そんな人たちの「それから」を二つのクラブから報告します。(仙台RC / 静岡RC)



■縦組みP28～29 / ロータリーアットワーク

P28…「ベトナム国立交響楽団へ楽譜寄贈のプロジェクト」  
郡山アーバンロータリークラブ

- ◆国際ロータリー表彰 ・国際ロータリー特別会長賞
- ◆地区表彰 ・会員数純増クラブ第1位  
・新会員入会者数第2位
- ◆ロータリー財団寄付表彰  
・年次寄付・恒久基金第2位  
・一人当たり年次寄付上位第5位  
・ロータリー財団法人寄付 海野卓哉会員  
・ポールハリスフェロー  
氏川守義会員 日比野恒夫会員  
・マルチプルポールハリスフェロー  
阿久津肇会員6回 八子英器会員5回  
安藤健次郎会員3回 土屋敦雄会員2回  
渡辺健寿会員1回 渡邊又夫会員
- ◆米山記念奨学会表彰 ・4,000万円達成クラブ  
・寄付額第2位 ・一人当たり寄付額第8位  
・米山功労者メジャードナー 加藤義朋会員31回  
・米山功労者マルチプル  
白岩康夫会員7回 佐藤武彦会員2回  
紺野晴郎会員2回 渡邊又夫会員2回  
・新米山功労者 田沼紀美子会員



- ◆永年在籍30年表彰  
安藤錬雄会員 稲葉鐘吾会員  
海野卓哉会員 大沼健次会員
- ◆皆出席10年表彰  
阿部力哉会員



お客様紹介



●フィリピンマリキナRC ホセ・ファビアン カデイス 様  
阿久津PG始め、福島RCの皆様には大変お世話様になりありがとうございます。これまでの支援事業に関しマランダイ小学校では深く感謝しております。今後も双子クラブとしての友好が続くことを祈っております。

例会プログラムのご案内

- 6月4日(木) 12:30～「辰巳屋」  
・新会員スピーチ みずほ銀行福島支店長 井上賢司会員  
\*誕生祝い・新旧合同理事会 18:30～「辰巳屋8F フローニウ」
- 6月11日(木) 18:30～「石林」  
「福島北RC・福島RC合同夜間例会」
- 6月18日(木) 12:30～「辰巳屋」  
「久米允彦ガバナー補佐クラブ訪問」  
\*「友」紹介 \*「血圧測定」
- 6月25日(木) 12:30～「辰巳屋」  
丹治正博会長スピーチ 坪井大雄幹事スピーチ

私のひとこと

草野 武夫 会員



話されていたので、私も特に珍しい名字ではないが、自分の名字のルーツを調べてみた。いま、草野姓の人は全国で約三万八千八百人(およそ二十九万ある姓の中で五四二位)いるそうだが、全員が一族ではないようである。

史上、知られている草野氏には次の四つの流れがある。近江国浅井郡草野庄司として源頼朝を助けた系統、備前国松浦郡の菊池氏の系統、築後国久留米の安倍氏の系統、そして磐城国行方郡草野村の系統である。

先月、クラブに珍らしい姓の方何人か入会され、ご挨拶の中で自分の名字について母の生前の話(草野家の口伝)では福島市の草野家(総本家は日銀前の草野仏具漆器店)は県内の磐城の系統ではなく九州天草の出身だそうである。とすれば、島原の乱で戦死した福島藩の藩指板倉重昌公と何らかの因縁があるように思えてくる。そう思っ、いろいろ調べてみたが、残念ながら天草四郎が草野だという証は見つからなかった。

余談だが、草野家の最盛期は本町の自宅から福島駅まで他人の土地を踏まずに行けたそうである。ホント？

5月誕生祝い

おめでとーございませう

佐藤 幸会	昭和 42年 5月 2日
増子 勉会	昭和 24年 5月 13日
稲葉 鐘会	昭和 6年 5月 16日
鈴木 勇会	昭和 47年 5月 18日
草野 武会	昭和 15年 5月 19日
狩野 安会	昭和 31年 5月 20日
三浦 康会	昭和 43年 5月 26日
江刺 家会	昭和 47年 5月 29日



ニコニコBOX報告

〈報告〉松浦 敬裕 委員

本日のニコニコBOX投入額 32件 ¥79,000 累計 ¥2,269,000

- 佐藤 英典 会員  
マリキナRCファビアンパスト会長の福島RC来訪を心より歓迎します。
  - 小林 仁一 会員  
ライラの研修ありがとうございました。その報告を当社より参加させて頂いた二名が致します。宜しくお祝い申し上げます。
  - 草野 武夫 会員  
誕生祝いありがとうございます。先日市役所からバスの無料乗車証が届き年を実感させられました。
  - 安藤 錬雄 会員  
永年在籍三十年表彰ありがとうございます。
  - 大沼 健次 会員  
新会員をご紹介致します。
  - 古俣 猛 会員  
今後ともご指導をお願いします。
  - 久保田 吉朗 新会員  
本日より入会させて頂きます。
  - 茂木 正志 新会員  
宜しくお祝い申し上げます。
  - 野原 邦亮 会員  
本日も宜しくお祝い申し上げます。
- 他に/氏川守義/内池浩/岡田新也/加藤義朋/門脇涉/菅野裕一/児玉健夫/茂田士郎/白岩康夫/高橋聡/田沼紀美子/鶴丸直久/信国一朗/藤井高志/増子 勉/松浦敬裕/三浦康伸/八巻恵一/渡邊又夫/幡 研一/丹治正博/坪井大雄/反後太郎

パンダハウス募金ご報告 (森川英治社会奉仕委員長)

5月21日 8,349円

累計 234,237円